

令和4年3月25日

I 西区病院協議会 令和4年3月10日(木) 18:30～ <西区在宅ケア連絡会264回例会との合同開催 >
テーマ「新型コロナウイルス感染症と西区の病院の役割」

開会挨拶 札幌市医師会西区支部 支部長 太田秀造先生

基調講演 「パンデミックにおける地域医療連携～西区における病院の役割」

国立病院機構北海道医療センター 院長 長尾雅悦先生

各病院長からの発言及び意見交換

閉会挨拶 札幌市医師会西区支部 支部長 太田秀造先生

講師の長尾雅悦先生は1 直近の札幌市内の感染状況、2 重点医療機関としてのコロナ対応、3 入院待機ステーションへの取り組み、4 在宅診療及び施設内クラスターへの支援、5 精神科医療機関との連携について順にお話しされました。

4 については、在宅療養者の在宅医療こそ地域包括ケアであり、日常の地域連携における4つの柱として①予防医療活動②保険と医療のネットワーク③指導者養成・情報発信④自治体によるエビデンスづくりを示され、要は行政と医師会であるとし、西区の病院は両者をどう動かすか！が課題と強調されました。最後にまとめとして(1)行政・医師会と共に、コロナ対策へのオピニオン形成、(2)入院医療だけではなく、コロナ禍での地域包括ケアの実現、(3)災害と同様の多職種による勝因は県と受け入れを課題として提示され終了しました。

その後質疑応答ののち、各病院からご報告いただき、西区の病院における新型コロナウイルス感染症の対応(クラスター対応、感染管理、発熱外来、コロナワクチン接種等々)について共有することが出来ました。

参加者から寄せられた感想の一部を併せて掲載致します。

いつもお世話になっております。

西区在宅ケア連絡会に参加させていただきました

西区第2地域包括支援センターの〇〇〇〇です。

普段聞くことのできない様々な病院のコロナ禍における実情をお伺いでき、とても貴重なお話を聞くことが出来ました。

長尾先生の講話も参考になり、学びを深められたと感じています。

利用者様の支援をしていく中で、医療機関と連携することはありますが、お会いする機会はなかなかないので、

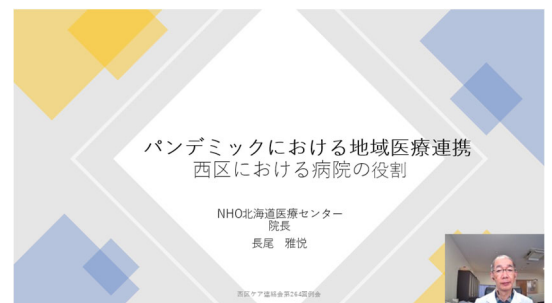
今回、様々な病院の院長先生、先生の皆様のお顔を拝見でき、

とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

このような機会を御作り頂き、本当にありがとうございます。

また、参加させて頂きたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。



昨日は、医師から最近のコロナの状況が聞けて

大変参考になりました。

今後とも、よろしくお願い致します。

はるにれ薬局屯田店 〇〇〇〇

吉澤先生、お世話になっております。

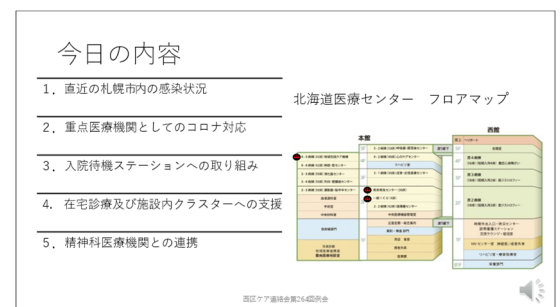
昨日の西区ケア連の感想です。

医療機関の医師達の中でも、基準に照らし、各々の医療機関で悩みながら、病棟移動、退院判断をしていることが伝わってまいりました。

また実働する看護師の確保が大変であることもわかり、大変学びの深い時間となりました。

ありがとうございました。また参加させていただきます。

◆ 小規模多機能ホーム『ミヤビー宮の森』 〇〇〇〇 ◆



いつも大変お世話になっております。

西さっぽろ病院 地域医療連携室 ○○○○です。

昨日は、西区病院協議会に参加させていただきありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症と西区の病院の役割というテーマで各病院の先生方の新型コロナウイルス感染症に対するお考えや病院での対策を直接聞くことができ大変勉強になりました。

当院は整形外科と言うこともあり、新型コロナウイルスと最前線で向き合う機会が少ない分各病院、先生方の新型コロナウイルスに対する危機感や対処のスピード感の違いを痛感し、この感染症を防ぐ難しさの中、患者さんを守るため多大な努力と行動をされていることに頭が下がる思いで聞いておりました。

先生方のお話を聞き、感染症を予防するには基本的な対策を継続し、職員一人ひとりが予防の意識を忘れず行動する事が

なにより大切であると改めて思いました。この度の講演内容や先生方からの情報を当院長と共有し活かしていきたいと考えております。

今回の参加は、私自身初めてであり、私が発言するとは全く念頭にありませんでしたので吉澤先生にご指名頂いた時、緊張してご参加の先生方、ご視聴された方々に上手くお伝え出来ず

大変申し訳ございませんでした。失礼の数々、お許しください。

また機会がございましたら参加させていただきます。

この度はありがとうございました。

吉澤先生

おつかれさまです。

コロナ禍での地域連携に興味があり、昨日参加させていただきました。

自分たちの取り組みしか見えていなかったことを反省しています。

とくに精神科の苦労と、コロナ禍でより見えてきた精神疾患の現状など。

これまでの地域連携の深いつながりがあり、おたがいの院所のことを思いながら

コロナパンデミックに向かっていったからこそ、昨日のような発言や交流ができたんだと強く感じました。

幅広いテーマだけに、時間が足りなかったのが残念です。

部外者ですが、これからもお邪魔させていただきます。

北海道勤医協 ○○○○

自宅療養者の在宅医療＝地域包括ケア

- ・地域連携における4つの柱(日常)
 - ① 予防医療活動
 - ② 保健と医療のネットワーク
 - ③ 指導者養成・情報発信
 - ④ 自治体によるエビデンスづくり
- ・要は行政と医師会
 - ・**西区の各病院は両者をどのように動かすか!**
 - ・地域全体の体制を考える
 - ・入院療養
 - ・宿泊療養
 - ・自宅療養
 - ・入院待機ステーション

西区ケア連絡協議会事務局

おわりに

- ・複合型総合医療施設としての役割
 - ・救命救急センター・ICU
 - ・結核
 - ・精神(身体合併症)
 - ・難病、在宅後方支援
 - ・重心
 - ・認知症
 - ・小児

- (1) 行政・医師会と共に、コロナ対策へのオピニオン形成
- (2) 入院医療だけでなく、コロナ禍での地域包括ケアの実現
- (3) 災害と同様の多職種に渡る職員派遣と受け入れ

西区ケア連絡協議会事務局

II 今後の予定

○西区支部事例検討研修会 令和4年4月14日(木)18:30～ 開催形式未定(オンライン参加あり)

第265回西区在宅ケア連絡会、札幌市介護支援専門員西区支部研修会との合同開催

「西区の地域ケア充実におけるケマネジャーの役割～現状と課題(仮題)」

講師 札幌市介護支援専門員連絡協議会西区支部 支部長 甲斐洋平さん

○266回例会 令和4年5月19日(木)18:30～

III 令和4年度の活動

- ・各職能団体から簡単な事例を交えてご講演いただき多職種で意見交換
- ・西区地域ケア推進会議で作成したリーフレット、DVDの周知
- ・コロナ禍において地域で住民を支援している状況の共有
- ・在宅医療・介護連携推進事業(多職種連携意見交換会、事例検討研修、シンポジウム)
- ・活動内容の報告(在宅療養部報告、西区在宅ケア連絡会活動報告書発行)